

有事に備え 津波避難訓練を実施



↑津波避難訓練の様子

福島県沖地震を起因とする津波警報発令を想定した津波避難訓練ならびに新型コロナウイルス感染症対策に基づく避難所開設・運営訓練が10月23日(日)、町内の沿岸部を対象に行われました。

訓練は、対象地区の住民や企業関係者などに参加をいただき、避難場所として設定した築地ヶ丘公園への避難経路の確認や負傷者救助訓練を行うとともに、中央体育館において新型コロナウイルス感染症対策に基づく避難所開設・運営訓練を行いました。

ふるさと応援寄付金特産品出発式



↑ふるさとと納税返礼品出発式の様子

ふるさと応援寄付金特産品出発式が10月24日(月)、広野町役場前駐車場で行われました。平成27年度から町内のコメ栽培農家支援の一環として、農薬や化学肥料の使用を抑えた特別栽培の新米を返礼品としており、今年で8回目を迎えました。9千円以上を広野町にふるさと応援寄付金(ふるさと納税)をした全国各地の方々へ20名の農家のみなさんが丹精を込めてつくった特別栽培米を発送していきます。

県町村会と議長会が東京電力へ要望活動を実施



↑内田代表に要求書を手渡す遠藤会長(左から2人目)

県町村会と県町村議会議長会は10月11日(火)、東京電力に対し、福島第一原発の処理水の取り扱いについて、新たな風評を発生させないという強い決意の下、正確な情報発信や万全な風評対策はもとより、将来に向けた実効性のある事業者支援策に、主体的に取り組むことを求めました。

県町村会長の遠藤町長と県町村議会議長会の小椋会長らが福島市の自治会館で、東京電力復興本社の内田副代表に要求書を手渡しました。

行政区クリーンアップ作戦



↑行政区クリーンアップの様子

行政区クリーンアップ作戦が10月9日(日)、地域住民などによる良好な生活環境の美化・保全への取り組みを行政区毎に積極的に推進するとともに各行政区のコミュニティを深めることを目的に開催されました。当日は、26行政区約600名の参加があり、各集会所や通学路などのゴミ拾いや除草作業に汗を流しました。

町では、今後も引き続き、毎年6月に行われる河川のクリーンアップ作戦に加えて行政区クリーンアップ作戦を実施し、町民のみなさんとともに町内における生活環境の美化・保全に取り組んでまいります。

沼津学園飛龍高校三島スクールの生徒が来町



↑河津桜の手入れを行った飛龍高校三島スクールの皆さん

静岡県にある学校法人沼津学園の飛龍高校三島スクールの生徒91人が9月28日(水)、広野駅東側開発地区にある「沼津の杜公園」を訪れ、植樹した桜の除草や添え木の手入れ作業などを行いました。

遠藤町長は、訪れた生徒に向けて「日本一早く咲くこの河津桜は、被災地の希望です。広野町との交流で学んだことを活かし、社会でご活躍していただきたい」とあいさつを述べました。

ふたば未来学園中学・高校バドミントン部全国大会報告



↑全国大会での活躍を報告するふたば未来学園中学校・高等学校バドミントン部

ふたば未来学園中学・高校のバドミントン部が9月29日(木)、役場全員協議会室で、7月に徳島県で行われた全国高校総体で女子団体準優勝と、8月に青森県で行われた全国中学体育大会で男子団体優勝の活躍を遠藤町長に報告をしました。

中学バドミントン部キャプテンの川野さんは「勝利する気持ちをもつことで優勝することができた」と語りました。遠藤町長からは「双葉地方の皆が期待感を持っている。素晴らしい結果に今後の活躍を応援している」とたえ、賞状と記念品が贈られました。

大学生インターンによる短期インターンシップを実施



↑ワークショップに参加した大学生

10月8日(土)~10日(月)までの3日間、町主催のインターンシップ受け入れ事業を実施しました。全国より大学生8名が参加し、町が運営する「ひろぼークラブ」の魅力向上といった課題解決に向けて、協賛企業を巡るなど積極的に活動を行いました。町を訪れるのは2回目という学生やふたば未来学園の卒業生という学生も参加し、大学生ならではのユニークなアイデアを数多く企画し、遠藤町長も「実現に向けて取り組みたい。」と意気込みを伝えました。町は、さらに年度内の長期インターンシップ実施に向け、調整を進めています。

低炭素型土系舗装材「ZEROカーボンソイル」を使用した実証的試験施工の説明会



↑低炭素型土系舗装材「ZEROカーボンソイル」を使用した実証的試験施工の説明会

低炭素型土系舗装材「ZEROカーボンソイル」を使用した実証的試験施工の説明会が9月29日(木)、広野小学校西側通路で行われ、ゼロカーボン推進チームなど20名ほどが参加しました。「ZEROカーボンソイル」とは、自然由来のものを使用した舗装素材であり、水を加えると固まり、さらに大気中の二酸化炭素を吸着固定するものです。この試みは「広野町ゼロカーボンシティ宣言」をしてから初めての取組となり、カーボンニュートラルを目指す有益な素材となっています。